

第1 総括事項（公益目的事業）

公社は、愛知県内における上下水道施設及び排水施設等社会インフラの適正かつ効率的な運営管理等を行うとともに、そこで得た知識及び技術を社会に積極的に移転、拡大して、県内の環境保全と公衆衛生の向上及び災害の防止を図り、もって地域の健全な発展に寄与することを目的として活動しました。

第2 庶務に関する事項

1 評議員会及び理事会の開催

開催年月日 開催内容	審議事項		議決内容
令和7年4月1日 第64回理事会 決議の省略による	提案事項1 提案事項2 提案事項3 提案事項4	常務理事の選定について 重要な使用人の選任に係る承認について 就業規程の一部改正について 第52回評議員会の招集について	原案どおり同意 原案どおり同意 原案どおり同意 原案どおり同意
令和7年4月15日 第52回評議員会 決議の省略による	提案事項	役員及び評議員の報酬額の決定について	原案どおり同意
令和7年5月28日 第65回理事会	第1号議案 第2号議案 第3号議案 第4号議案 報告事項	令和6年度事業報告について 令和6年度決算について 第53回評議員会の目的である事項に係る議案(評議員及び役員の選任)について 第53回評議員会の招集について 職務執行状況について	原案どおり承認 原案どおり承認 原案どおり可決 原案どおり可決
令和7年6月24日 第53回評議員会	第1号議案 第2号議案～ 第12号議案 第13号議案～ 第25号議案 報告事項	令和6年度決算について 評議員の選任について 役員の選任について 令和6年度事業報告について	原案どおり承認 原案どおり可決 原案どおり可決
令和7年6月24日 第66回理事会 決議の省略による	提案事項1 提案事項2	理事長の選定について 常務理事の選定について	原案どおり同意 原案どおり同意
令和8年1月19日 第67回理事会 決議の省略による	提案事項	評議員会の招集について	原案どおり同意
令和8年2月13日 第54回評議員会 決議の省略による	提案事項1 提案事項2	役員の報酬額の改定について 定款の変更について	原案どおり同意 原案どおり同意

<p>令和8年3月27日 第68回理事会</p>	<p>第1号議案 第2号議案 第3号議案 第4号議案 第5号議案 第6号議案 報告事項</p>	<p>令和8年度事業計画について 令和8年度収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みについて 事務決裁規程の一部改正について 会計処理規程の一部改正について 第55回評議員会の目的である事項に係る議案(評議員及び理事の補欠選任)について 第55回評議員会の招集について 職務執行状況について</p>	<p>原案どおり承認 原案どおり承認 原案どおり可決 原案どおり可決 原案どおり可決 原案どおり可決</p>
<p>令和8年3月27日 第55回評議員会</p>	<p>第1号議案～ 第5号議案 第6号議案～ 第10号議案 第11号議案 第12号議案 報告事項1 報告事項2</p>	<p>評議員の辞任に伴う補欠選任について 理事の辞任に伴う補欠選任について 評議員会運営規程の一部改正について 役員及び評議員の報酬等に関する規程の一部改正について 令和8年度事業計画について 令和8年度収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みについて</p>	<p>原案どおり可決 原案どおり可決 原案どおり可決 原案どおり可決 原案どおり可決</p>

2 評議員の異動

異動年月日	評議員名	氏名	摘要
令和7年4月1日	評議員	朽名 栄治	就任
	評議員	久住 敬志	就任
	評議員	杉山 勝浩	就任
令和8年3月31日	評議員	秋葉 雅章	辞任
	評議員	安田 英樹	辞任
	評議員	伴野 喜則	辞任
	評議員	杉山 勝浩	辞任
	評議員	笹尾 拓也	辞任

3 理事の異動

異動年月日	役員名	氏名	摘要
令和7年4月1日	理事	宮澤 祐子	就任
	理事	大橋 敏秀	就任
令和8年3月31日	理事	宮澤 祐子	辞任
	理事	榎本 訓康	辞任
	理事	高林 茂宏	辞任
	理事	川村 哲弘	辞任
	理事	黒柳 慎一	辞任

4 監査の実施

実施年月日等	事項	摘要
毎月	例月監査	監事 菅沼 利元
四半期	四半期監査	監事 菅沼 利元 倉本 繁八
令和7年5月23日	令和6年度事業報告について 令和6年度決算報告について	監事 菅沼 利元 倉本 繁八

第3 令和7年度事業実績の概要

1 下水道部の事業

(1) 流域下水道施設に関する技術等を活用した事業

ア 流域下水道運営管理

愛知県が設置した豊川始め 11 流域下水道について、指定管理者として、適正に運営管理事業を実施しました。今年度業務の特出すべき事項を次に掲げます。

[特出すべき事項]

(ア) 放流水の栄養塩類管理運転

「水質保全と『豊かな海』の両立に向けた社会実験」として、緩和された総量規制基準のもと、豊川及び矢作川の2浄化センターにおいて、令和7年9月1日から管理運転を実施しました。なお、日光川下流浄化センターにおいても、社会実験と同期間で管理運転を実施しました。

(イ) 汚泥の安定的な処理処分

焼却炉等の汚泥減量化施設（管理外施設を含む）の故障に伴う処理停止に対応するため、有効利用量の上乗せ及び施設能力の余力の確保等の方策を計画し、適切に汚泥処理を実施しました。

(ウ) 組織のアセットマネジメントシステム

組織のマネジメントシステムの有効性を確認するため、ISO 55001 規格の認証済み範囲を対象として認証機関の継続審査を受け、認証機関から有効性が認められました。

令和7年度流入水量（計画及び実績）

浄化センター	流入水量（千m ³ /年）	
	計画量	実績量
豊川浄化センター	28,319	※ 27,628
五条川左岸浄化センター	27,248	26,512
境川浄化センター	63,115	59,798
衣浦西部浄化センター	21,657	20,447
矢作川浄化センター	89,693	83,924
衣浦東部浄化センター	10,336	10,201
日光川上流浄化センター	15,698	15,363
五条川右岸浄化センター	11,107	10,431
新川東部浄化センター	4,584	4,527
日光川下流浄化センター	8,693	8,615
新川西部浄化センター	1,588	1,577
合計	282,038	269,023

※：R5 6/2 の大雨により一部計測点が水没し、以降流量データが欠測したため、9/15 までは昨年同様放流流量を採用し、流入水量とした。

イ 汚水及び汚泥の処理方法の調査研究

効率的な維持管理やコスト削減のため、次に掲げる調査研究を行いました。

- ・ 廃棄ガラス再生資材を生物脱臭担体に用いた際の脱臭効果の検証について
- ・ 焼却灰の金属含有量の変動が消石灰添加によるヒ素、セレン溶出対策へ及ぼす影響調査

(2) 下水道に関する技術及び知識の普及・啓発、技術支援事業

ア 下水道知識等の普及啓発活動

県民に下水道に関する理解と関心を深めてもらい、下水道の適正利用を促すため、次に掲げる普及啓発活動を行いました。

時期	実施場所	イベント	啓発対象者(参加者数)
年間	各浄化センター	処理場見学	主に小学生(3,600名)
7, 8月	各浄化センター	夏休み親子下水道教室	小学生と保護者(446名)
7月	東海学園大学	特別講義	東海学園大学学生(113名)
年間	小学校	下水道出前講座(県への協力)	小学生(5校 476名)
年間	県内各所	普及啓発イベント(県への協力)	イベント等来場者

イ 下水道科学館の運営管理

下水道の普及啓発を行うため、指定管理者として、アクティオ(株)との共同体にて、愛知県下水道科学館(メタウォーター下水道科学館あいち)の運営管理業務を実施しました。

項目	来場者数	来館団体数	利用者満足度
目標	90,000人以上	400団体以上	80点以上
実績	93,332人	469団体	88点

ウ 下水道研究報告会・下水道技術講習会の開催等

県内自治体等の下水道関係者の知識向上のために、次に掲げる講習会等の開催及び研修への講師派遣を行いました。

時期	実施事項	対象者及び対象地域 (参加者等)
7月14日	下水道研究報告会 県講演1件 県内自治体発表2件 公社発表3件	県内自治体等の下水道関係者 (97名)

12月3日	下水道技術講習会 「安全性確保を最優先する管路マネジメントの実現に向けて」 (公社) 日本下水道管路管理業協会 「下水道 BCP 策定マニュアル改訂の方向性と下水道機構における近年の調査研究について」 (公財) 日本下水道新技術機構 「マンホール蓋の予防保全的維持管理への転換 -ウォーターPPP の検討を機会として-」 (一社) 日本グラウンドマンホール工業会	県内自治体等の下水道関係者 (79名)
8月29日	下水道技術研修会 水処理、汚泥処理の仕組み 事業所排水と処理場排水規制	流域関連県内自治体等の下水道関係職員 (29名)
6, 10月 令和8年1月	技術技能研修への講師派遣 (中部地方下水道協会主催)	中部地方下水道協会会員ほか (講師6名派遣)

エ 自治体下水道事業への技術支援事業

県内自治体の抱える課題を解決するため、次に掲げる業務を受託し、技術的な支援を行いました。

業務名	委託者	業務内容
矢作川流域下水道事業の内工事監督支援業務委託（機械・電気設備工事）	愛知県	県発注機械、電気設備工事の監督支援
合流改善水質検査業務	刈谷市	合流改善調査に伴う水質試験
東海総合事務所管内における維持管理に係る技術援助業務等支援・協力業務委託	日本下水道事業団	日本下水道事業団が行う県内自治体（蒲郡市、東海市、尾張旭市、田原市、長久手市）への技術援助の支援協力

2 水道緑地部の事業

(1) 水道施設等運営管理事業

県営の水道用水供給事業の施設及び工業用水道事業の水源及び水道施設に関連する業務を実施しました。

ア 機器点検・測定業務

浄水場等の水質計器、無停電電源装置及び電食防止設備の点検・測定を実施しました。

	設 備	内 訳	設 置 施 設
点検 (1,371台)	水 質 計 器 (483台)	濁度計 115 台、PH 計 143 台 残塩計 140 台、その他 85 台	高蔵寺浄水場 始め 70 施設
	無停電電源装置 (464台)	充電装置 203 台、蓄電池 200 台 インバータ 61 台	高蔵寺浄水場 始め 138 施設
	電 食 防 止 設 備 (424基)	整流器 347 基、排流器 30 基 ボンド 47 基	管路 1,006km
測 定	電 食 防 止 設 備 (2,885箇所)	管対地電位 2,661箇所 陽極発生電流 224箇所	

イ 佐布里水源の森関連業務

佐布里池周辺の樹木管理等の環境整備を実施しました。

業 務 内 容	数 量	内 訳
草刈・寄植剪定・伐竹	184,823 m ²	草刈 177,310 m ² 、寄植剪定 4,108 m ² 伐竹 3,405 m ²
樹木剪定・植栽撤去	208 本	樹木剪定 203 本、植栽撤去 5 本
希少植物保全管理	1 式	
ダム周辺清掃	1 式	
水の生活館受付・清掃	1 式	

(2) 排水機場等運営管理事業

日光川排水機場始め6排水機場及び日光川水閘門の、運転操作及び点検整備の業務を実施しました。

区 分		増水運転 操作回数	増水運転 時間	管理運転 操作回数	
日光川排水機場		477 回	25 回	61 時間	32 回
日光川河口排水機場			16 回	42 時間	14 回
蟹江川排水機場			63 回	98 時間	19 回
筏川排水機場			346 回	1,130 時間	2 回
西中野排水機場			15 回	27 時間	49 回
尾西排水機場			12 回	24 時間	61 回
日光川 水閘門	水 門	1,380 回	397 回		
	閘 門		983 回		

(3) 上記の(1)、(2)の事業に関する技術及び知識の普及・啓発に関する事業

ア 水道知識の普及

市町水道職員等への水道知識の普及を目的とした、講演会及び研修を開催しました。

催 行	開催日	内 容	参加者	
電気防食 研修	5月22日	電気防食等についての講義、施設点検見学及び実習	県企業庁の職員 15名	
講演会	6月2日	「最近の水道行政について」 国土交通省 水管理・国土保全局 水道事業課 水道計画指導室 課長補佐 山口 和史氏	市町の水道職員等 115名	
	8月1日	「水道の地震対策30年とこれからの整備」 神戸大学 大学院 工学研究科 教授 鋤田 泰子氏	市町の水道職員等 104名	
水道技術 基礎研修	10月22日	水道一般、市町における各種取組、水質管理及び水処理、ダクタイル鋳鉄管による管路耐震化、漏水についての講義	市町若手 水道職員	36名
	10月23日	ダクタイル鋳鉄管の接合及び企業庁管路研修施設等での実習		

イ 水道に関する啓発

水の大切さや水源保全について理解と関心を深めていただく目的で、県等関係機関と連携して、啓発活動を行いました。なお、10月の水源保全PR活動については、主催者の判断により開催されておりません。

イベント名	実施日	実施場所	啓発対象者
水道週間等 PR 活動	R7.5.3、5.29～5.30	県内 5 箇所	来場者及び通勤・通学客
水源保全 PR 活動	R7.10【未開催】	豊田市	清掃活動に参加した地域住民
節水街頭 PR 活動 (豊川用水節水対策)	R7.12.25、R8.2.10	豊橋市 蒲郡市	通勤・通学客
佐布里池梅まつり	R8.3.1	知多市	水の生活館来館者等

ウ 水害に関する啓発

排水機場等の見学者、視察者に対し、排水機場及び水閘門が果たす役割や水害に対する意識を高めていただくために、県が実施する啓発活動に協力しました。(47 団体, 見学者数 404 人)